

西高生による西高と町の魅力発信！

西高Live Vol.20

西和賀高校生と広報にしわがの共同企画ページです。生徒会が取材・編集にチャレンジ!!



エールの交換



平成二十七年度 第44回卒業式

3 / 1 (火)

卒業生の言葉

私たちは三年前三十四人で入学し、今日、一人も欠けることなく、三十四人で卒業します。少ない人数でしたが、だからこそ、冬季トレーニング（豪雪地隊）などクラスや部活動を越えたつながりを持てたのだと思います。進路に向けた受験も、三十四人全員で支え合い、励まし合って乗り越えてきました。入学の時には不安の方が大きかった私たちですが、今は胸を張って母校を卒業します。西和賀町の皆様には、多方面からご支援いただきました。これからも西和賀高校を応援してください。

三年生代表 高橋和也

3B (沢内)

在校生の言葉

三月一日（火）に本校の第四十四回卒業式が行われました。今年度は三十四人の先輩方がこの西和賀高校を卒業しました。私たちは部活動や行事を通して先輩方とたくさん時間を過ごしてきました。

その中で、先輩方の実力、経験の差、なにより団結力の強さを感じました。そして私たち後輩をより良い方向に導いてくれました。春からそれぞれの場所で自分の人生を力強く歩んでいってほしいと思います。西和賀高校で送った三年間を自信にして、活躍してください。



当日はこの天気!!



ホームルームにて



全員完走しました！



僕は20キロコースに挑戦しました。走っていると町の方々が外に出て応援をしてくれました。疲れが全部飛んでいくような温かい応援でした。新町あたりまで来た時、疲れが出てきて自分の弱い心に負けそうになりましたが、歩くことなくゴールを目指しました。20キロ走りきってみると、今までにない達成感を味わうことができたし、自分の体力に自信を持つことができました。とてもいい豪雪の終わりができたと思います。

川村友真1B (沢内)

僕たちは冬季合同トレーニング「豪雪地隊」のしめくりとして、昨年から「町内縦断マラソン」を行っています。今年は二月二十八日に、貝沢（27キロコース）、川舟（20キロコース）、沢内小（15キロコース）の3つに分かれ、自分の実力を考えてコースを選択しました。

その日は去年と同様、晴天に恵まれました。私は27キロコースに挑戦しました。貝沢では十名ほどの生徒が合図と共に一斉にスタートしました。私は先頭グループで、序盤から好調にペー

スをあげていきました。スタートから約半分の辺りから少し苦しくなってきましたが、沿道の方々からの給水や応援に後押しされて、最後まで走りきることができました。ゴールした後も、走っている人の応援をしっかりとやり、完走できた達成感をみんなで味わうことができました。

また、ゴール（学校）には町の有志の方々が、飲み物などを用意して下さいました。本当に嬉しかったです。応援ありがとうございました。

北村直輝2B (沢内)

例年よりも早い春の訪れを感じられた二月二十八日。幸いにも天気にも恵まれ、全員自分の選択した距離を完走することができました。私は15キロを選択しました。昨年も15キロを走りましたが、北上から通う私にとっては見慣れない道を走ることになるので、不安と緊張で胸がいっぱいでした。しかし、西和賀町の方々の熱い声援のおかげで不安と緊張が一気に吹き飛びました。

及川侑紀2B (和賀東)



雪納豆とコタツ納豆
ツ納豆を作りました。コタツ納豆は菌が活発になる温度が保たれていたのでも、手くいきました。雪納豆は、一回目菌を入れ忘れて上手くいかず、二回目は粘りができましたが、成功とは言えませんでした。わらの量が少なかったと思います。今回雪納豆を作った秋からの準備が必要だし、昔の知恵には科学が沢山隠れていると感じました。

理系女子 eye No.2

雪納豆とコタツ納豆



雪納豆は少しの間も怠るとできないと分かり、さすが伝説の雪納豆だと思いました。
松川奈愛2B (沢内)

編集後記

三月一日本校で卒業式が行われ、三十四人の先輩が卒業しました。私たちが在校生も今後更になんばっていきたいと思います。また、二月二十八日に行われた、西和賀高校町内縦断マラソン（豪雪）での、たくさんの方々の御声援ありがとうございました。
中村航大 2B (沢内)